

令和7年6月10日

東京総合美容専門学校
学校長 畠山知代美

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告書

2025年度学校関係者評価委員会につき、下記の通り報告します。

記

1 開催状況

日程 : 令和7年6月10日 (火)
会場 : 東京総合美容専門学校 会議室

2 報告内容

別紙の通り

以 上

【別紙】

基準1 教育理念

- ・韓国ビューティーコースなど新しい取り組みを常にされている
- ・MVV浸透のために定期的な研修などは行っているのか
→年度初めにMVVに基づいた個人目標を設定し、期中の面談で振り返りを実施している

基準2 学校運営

- ・部門間の連携がスムーズに行われている
- ・新しい成績管理システムやチャットなどを使って効率的な業務推進に取り組んで欲しい

基準3 教育活動

- ・クリエイティブワークにはサロンとしても協力・連携していきたい
- ・教員がサロンに研修に行くということを考えてもいいのではないか

基準4 学習成果

- ・就職に関しては、サロンとの相互理解を深める施策をとってはどうか。複数の卒業生と在校生がコミュニケーションを取れる場づくりなど
- ・美容の現場を知るためにサロンでの実習を行うことも必要ではないか
→1年生で授業として3日間のサロン実習を行っている
- ・ある美容学校では、卒業生のSNSインフルエンサーが実施する技術講習を学校で行い、関係をつなげている

基準5 学生支援

- ・1年生では外部にも積極的に出て知見を深め、目標を明確に持つことで退学者を減らせるのではないか
- ・美容に限らず社会で生きる力を身に付けられる学校になってほしい
- ・メンタルヘルスはサロンでも問題になっており、いろいろな対策を取られている。
メンター制度を導入したところ退職率が低下したサロンもある

基準6 教育環境

- ・電子黒板での資料は自宅でも見られる環境になっているのか
→資料や動画はクラウドにアップされているので、いつでも予習復習できる

基準 7 学生募集と受入れ

- ・新しいコースの設置など積極的に行われている点が評価できる
- ・給付奨学金制度のスペシャルサポート制度は何人くらい利用されているのか
→例年30名程度が対象になっている

基準 8 財務

- ・特段問題ない考える

基準 9 法令等の遵守

- ・大きなトラブルもなく問題ない考える

基準 10 社会貢献・地域貢献

- ・姉妹校である東京グローバルビジネス専門学校に在籍している留学生とコラボする機会を検討されてはどうか